

社会を明るくする運動 「社明」と呼ばれている

毎年7月は総務省が行っている「社会を明るくする運動」（以後「社明」）の強化月間となっています。令和4年7月11日、「福祉パルたま」で「社会を明るくする運動登戸地区推進委員会」が町会連合会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会が参加して開催されました。

未だ認知度の低い「社明」とは犯罪や非行をした人たちに対し、社会の中で立ち直りに向けた指導や支援を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自立を助ける活動です。

この日は日頃から、保護司として犯罪や非行から再発しようとしている人たちを支えている登戸地区担当の、小林秀夫さんが「保護司全般について」、小林泰善さん（長念寺住職）と伊藤節子さんが活動事例の紹介を行い、地域で支える更生保護への理解を求めました。



登戸稲荷社節分祭開催

令和5年2月5日、登戸稲荷社の節分祭で3年ぶりの豆まきが行われました。

登戸地区社協はこの日、「社会を明るくする運動」を行い、保護司による更生保護の話や、子どもたちに啓発用品の配布を行いました。

川崎市社会福祉大会 3年ぶり開催

登戸地区社会福祉協議会総務企画部会の中原恵さんが、令和4年10月25日カルツかわさきにて開催された第58回川崎市社会福祉大会で、長年の地域福祉活動への貢献が顕著として会長表彰されました。



▲ 枳形中学の生徒と清水先生



田急線向ヶ丘遊園南口、JR南武線登戸駅改札前と小田急線登戸駅を結ぶデッキで登戸民生委員児童委員協議会（以下、登戸民児協）と町会、また、初めて枳形中学の生徒が参加して行われました。

街頭募金に枳形中学の生徒会と学年委員会の生徒が参加となったきっかけは、登戸民児協の木澤静雄会長が、枳形中学校の津裕一校長に参加の呼びかけを行ったことによるものでした。

街頭募金は10時から14時までの4時間行われ、コロナ禍では大きな声を出せないことから事前に生徒たちの声を録音し、それを流す方法で行いました。

生徒たちは2人ひと組となり、1時間交代でデッキに立ち、道行く人たちに募金のお願いを続ける

と、「地域でも募金をしたけれど、子どもたちが頑張っている姿に協力する！」と足を止めて募金をする姿が目立ちました。

生徒に同行してきた枳形中学校福祉教育担当の清水亨先生は、生徒の募金活動参加について「福祉教育実践の場として受け止めていますので、今後も続けて行きたいです」と話されていました。

令和4年度の赤い羽根共同募金は枳形中学の生徒たちが加わり、募金活動の輪が広がりました。募金活動はボランティアの一環です。枳形中学校、多摩区社協、登戸民児協の連携は次世代へ繋がる福祉活動になったようです。



▲左から枳形中学生徒と八木校長、木澤会長

◆ 今できることを大切に ◆

登戸地区社会福祉協議会（以下地区社協）は、登戸・登戸新町の地域で活動しています。部会は、総務企画部会・老人福祉部会・青少年福祉部会・障害福祉部会で構成されています。コロナ禍で地区社協の活動ができず残念ですが、収束した折には地域の皆様と共に活動が再開されることを心待ちにしています。

地区社協の活動として令和4年4月より登戸老人いこいの家でミニデイケア「にっこり会」を3年ぶりに実施している事をご報告いたします。



登戸地区社協会長
吉田紀代子

福祉の輪 ひろげて明るい街づくり！

賛助会費のご協力をお願い申し上げます

登戸(登戸・登戸新町) 地区社協の主な仕事

- 登戸福祉まつり中止
- 社会を明るくする運動への協力
- 共同募金・年末たすけあい運動の推進
- 登戸老人いこいの家の運営・協力
- 母親クラブへの後援
- 社協研修会の実施
- ふれあい型老人会食会の実施
- にっこり会
- 広報紙「のぼりと」の発行
- こども会活動への協力
- 障害者団体との交流会・クリスマス会
- 子育てサロン「ひよっこ」への協力

等々
町会、自治会、民生委員児童委員協議会、保護司会からの会費、そして地域の皆さまからの賛助会費によって支えられています。

たくさんのご協力 ありがとうございます！！

令和4年度 賛助会費報告 161,000円
(内 112,700円 登戸地区社協に)

★今年度は納入方法が「社協窓口」と「振り込み」のみにもかかわらず、会員の皆さまには多くのご寄付を頂き、スタッフ一同感謝いたしております。

共同募金・年末たすけあい募金

ご協力ありがとうございます
登戸地区
令和4年度募金総額
1,976,549円

編集後記

歴史の中で繰り返し起きてきた疫病（感染症）。21世紀はコロナの発生によって世界中がパンデミックとなりました。経済に始まり、福祉の世界も多大な影響を受け、すべてが停滞し、生活に影響が出てしまいました。

この「のぼりと」も3年ぶりの発行となりましたが、今後とも福祉の今をお届けすることを心がけて参ります。(総務企画)